

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成26年2月20日(2014.2.20)

【公開番号】特開2012-141054(P2012-141054A)

【公開日】平成24年7月26日(2012.7.26)

【年通号数】公開・登録公報2012-029

【出願番号】特願2011-67513(P2011-67513)

【国際特許分類】

F 16 F 15/02 (2006.01)

F 16 F 15/04 (2006.01)

【F I】

F 16 F 15/02 Q

F 16 F 15/04 A

【手続補正書】

【提出日】平成25年12月26日(2013.12.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

重量物の転倒を防止するために前記重量物の下に敷かれる防振パッドにおいて、
弾性材料からなる弾性シートと、

前記弾性シートを補強するために前記弾性シートと一体に設置されると共に、周壁により内部を囲う筒部を有して硬質材料から形成された筒状補強部材と、を備え、

前記筒状補強部材の内部に、底面にのみ開口が形成された、前記弾性シートが存在しない中空部が形成されていることを特徴とする防振パッド。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記課題を解決するために、本発明に係る防振パッドは、重量物の転倒を防止するため前記重量物の下に敷かれる防振パッドにおいて、弾性材料からなる弾性シートと、前記弾性シートを補強するために前記弾性シートと一体に設置されると共に、周壁により内部を囲う筒部を有して硬質材料から形成された筒状補強部材と、を備え、前記筒状補強部材の内部に、底面にのみ開口が形成された、前記弾性シートが存在しない中空部が形成されていることを特徴とする。